

さらなる成長と飛躍の拠点 山波工場新築工事、着々と進行中



第2工場完成予想図

山波工場新築工事

第2工場

- 2021年12月着工
- 2022年9月完成予定
- 敷地面積:5,113㎡ ● 建築面積:3,068㎡

製品倉庫として活用予定。
将来的に水洗機、乾燥機の組立、試運転場を第2工場に移転予定。

新第1工場

- 2022年中に現存する第1工場を取り壊し予定(老朽化のため)
- 2023年に新工場着工予定
- 住所:尾道市山波町3037-1

製缶、特機、板金、乾燥機の組立及び試運転場を新第1工場に移転予定。

「6割増産、売上75億円」達成めざして、 生産力の増強と品質向上に注力。

長引くコロナ禍で多くの企業が苦戦を強いられています。そのなかで弊社は2021年度売上を前年比約20%アップの業績を残すことができました。コインランドリーや病院・福祉施設・輸出などの需要が増えていることが要因です。

このため本社に併設している工場が手狭になったため、かねてより計画していた新工場建設に昨2021年12月着手。現在、工事が着々と進行中です。

新工場建設、設備の増強によって生産力を6割増大、2021年12月期に52億円だった売上高を2026年12月期に75億円まで引き上げることを目指しています。



山波工場

より一層の品質向上で、ディーラーの皆様に
“価格のアドバンテージ”を提供してまいります。

今回の新工場建設は将来の成長と業界メーカーの再編を見据えてのものです。海外市場の開拓を展望すれば、さらに新たな土地の取得も必要と考えています。

新社屋建築に伴い、旧第一工場(1963年建築)を解体することに関しては感無量の想いです。現在の山本製作所を築く礎となったのはこの工場、私も長くここで勤務しました。私の代にこの工場を建て替えることは亡き父もきっと喜んでくれると思います。

今後の工場運営としましては「品質向上」が最優先



課題です。2021年度にはTPS(トヨタ生産システム)を採用し、より一層の品質向上に取り組んでいます。当社は2022年度に製品の価格改定を行いませんでした。今までの工場運営の努力が報われたと思います。これからも「コスト競争力」を高め、「生産性」を向上させて“価格のアドバンテージ”をディーラーの皆様にお届けしようと思っております。

また創刊号のSDGsの宣言でも申し述べた通り、当社は部品をできる限り適正価格で供給し続け、安心してユーザーに購入していただける環境づくりに注力してまいります。

今後も新工場は建築していく予定ですが、ただ規模の拡大にとどまることなく、ユニーク(内製化率95%、高品質、高生産性、コスト競争力、労働環境等)な工場運営を心掛け、ディーラーの皆様のお役に立てればと願っています。

株式会社 山本製作所
代表取締役

山本尚平

Topix

品質そして価格競争力向上のために、
塗装工程も内製化比率をアップ!

品質向上そして価格競争力の向上は、私どもにとって常に変わらない大きなテーマです。あらゆる業務、作業でさまざまな取り組みを進めていますが、今回外注比率が高かった耐油性塗装の分野で内製化を進めたのもその一貫です。内製化によって3ヶ所(带上部分・ドアの緑・ドアの取っ手)の色を従来のグリーン系からブラックに変更。いちだんとシャープな表情になりました。塗料も以前のものよりも耐溶剤・耐薬・耐久・耐候性に優れた製品を採用。品質も向上しました。

石油系ドライ機塗料変更

対象型式

DO100FL・DO100FD・DO160FL・DO160FD・
DO220FL・DO220FD・DO220FK・DO220FW

変更前塗料

エポキシポリエステル樹脂塗料 深緑色

変更後塗料

ポリエステル系樹脂塗料 黒

変更後塗料の特徴

耐溶剤性、耐薬性、耐久性、耐候性に優れている

変更箇所

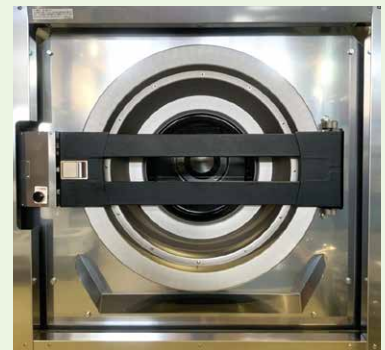
带上部分・ドアの緑・ドアの取っ手

製造番号BBD〇〇〇(4月生産分)から塗装色変更



WN502・WN502D
フタ加工方法・色変更

フタ表面の加工をバフ研磨加工からショットブラスト加工に変更します。併せて、デザイン性を高めるためにフタ取っ手部分の色を白から黒色に変更します。この変更に伴う製品価格の変更はありません。



製造番号BBD〇〇〇(4月生産分)から変更

